

令和5年度「横浜市水道局の広報に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

より多くの方に水道事業への理解を深めていただけるよう、今回のアンケート結果を参考に、広報印刷物・ウェブサイト・SNS・イベントなど様々な媒体・機会を活用して、水道局の取組をお伝えしていきます。

また、令和6年度広報事業の実施及び令和7年度広報事業の検討の際の参考資料として活用させていただきます。

2 アンケートを実施した感想

Q6の「Q3～Q5で知りたいと思う項目をお知らせする場合、どのような広報手段が良いですか」の質問に対して、「ア 広報よこはま」を選択回答された方が83.5%、「イ 水道・下水道使用水量等のお知らせ（検針票）の裏面」を選択回答された方が48.3%であったことから、ウェブサイトでの情報発信に対するニーズが高まっているとはいえ、紙媒体へのニーズが依然として最も高いことが分かりました。

今後の広報活動の参考とさせていただきます。

3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

このたびは、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

水道局の広報活動に関する率直なご意見をいただくことができ、大変参考になりました。

将来にわたり、安全で良質な水道水を安定的にお届けするためには、水道料金をお支払いいただく皆様のご理解が欠かせません。アンケート結果を参考に、費用対効果と「伝わる」広報を意識して、引き続き、水質・水源、水道料金の仕組みや使いみち、災害対策などを広報していきます。

担当：水道局広報課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。